

3. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援 (1) サプライチェーン強靱化：通信分野

NTT/データセンター建設・運営事業 向け融資(2024年3・9月)

- NTTのグループ会社に対し、**インド及び米国で実施するデータセンターの建設・運営事業**向けに、それぞれ102億インド・ルピー、250百万米ドルを限度に融資。
- NTTグループのデータセンター事業投資を支援し、**信頼性・安全性の担保された情報通信インフラ**の確保による日本企業の事業環境整備とサプライチェーン強靱化を実現。

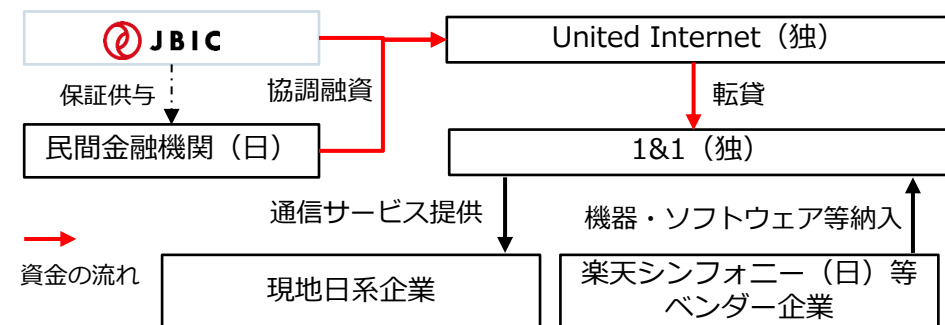


データセンターのイメージ(提供:NTT Global Data Centers & Cloud Infrastructure India Private Limited)

ドイツ/United Internet AG向け融資 (2024年12月)

- ドイツ法人United Internet AGに対し、ドイツ国内の**Open RAN技術による5Gネットワーク基盤の構築事業**向けに、800百万ユーロ(うちJBIC300百万ユーロ)を限度に融資し、民間金融機関の融資の一部を保証。
- 同社子会社の1&1社と楽天シンフォニーは**Open RAN技術に基づく、欧州初となる完全仮想化ネットワーク基盤**を構築。安全で質の高い通信環境を確保し、**ドイツに進出する日本企業の海外事業活動を支援**。
- 日本企業の海外事業に必要な基盤を支える「**特定外国法人**」向けの初の融資。

スキーム図



3. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援 (2) サプライチェーン強靱化：半導体分野

ルネサス/半導体関連企業 買収支援(2024年9月)

- ・ ルネサスに対し、豪州法人Altium社の買収に必要な資金として1,490億円を融資。
- ・ Altium社は半導体等を搭載するプリント基板の設計ソフトウェアを設計・開発・販売。
- ・ ルネサスは、より使いやすいユーザエクスペリエンスの実現や、クラウドベースの開発を可能とするための**デジタライゼーション戦略を推進**しており、本融資は、こうしたルネサスの事業戦略の推進に貢献。



ルネサスの半導体製品イメージ(提供:ルネサス エレクトロニクス株式会社)

アドバンテック/半導体製造装置用部品 製造・販売事業向け融資(2024年6・8月)

- ・ アドバンテックに対し、ベトナムでの**半導体製造装置用部品の製造・販売事業**向けに、計100百万円を融資。
- ・ 同社は、半導体製造装置用真空機器やテスト用ウェーハ等の製造・販売事業及びサステナブル事業を主な事業とする中小企業。
- ・ 同社の既存工場のバックアップ体制構築や、マレーシア等ASEAN地域に進出する欧米企業への販路拡大を支援するとともに、**半導体サプライチェーン強靱化**に貢献。



半導体用製造装置用の
真空機器部品



一貫制作を行う
専用クリーンルーム

3. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援

(3) サプライチェーン強靱化：資源・脱炭素分野

チリ/銅鉱山開発事業向け融資 (2024年4月)

- ・ 日鉄鉱業等が出資するチリ法人に対し、チリのアルケロス**銅鉱山開発事業**向けに、248百万米ドルを限度に融資。
- ・ 銅は電気自動車や再生可能エネルギー設備・機器等に欠かせない金属。
- ・ 銅精鉱の確保を通じて、**銅製品のサプライチェーン全体の強靱化**を支援。銅精鉱の自社鉱山比率向上を目指す日鉄鉱業の事業戦略にも貢献。



選鉱プラント(建設中)(提供:日鉄鉱業株式会社)

三菱ケミカル/EV等向け自動車部品の製造・販売事業(2024年6月)

- ・ 三菱ケミカルが出資するイタリア法人に対し、**炭素繊維強化プラスチック(CFRP)**を用いた**EV等向け自動車部品の製造・販売事業**に必要な資金を198百万ユーロ限度で融資。
- ・ CFRPは軽量・高剛性・高強度が特徴。燃費規制やCO2排出規制の強化を背景に、車体軽量化ニーズに貢献し、特に**航続距離伸長に資する**自動車部品素材としてEV等への採用が拡大。



(提供:三菱ケミカル株式会社)

3. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援

(1) スタートアップ・産業変革：スタートアップ投資体制強化

スタートアップ投資体制強化(2024年10月)

- スタートアップ投資体制を強化すべく、**スタートアップ投資戦略**を策定。
- 機動的な投資判断・スタートアップ支援**を可能とするため、同投資戦略の下で実施する出資等業務に関する重要事項の決定・審議を行う**スタートアップ投資委員会**を新設。
- 日本のスタートアップ・エコシステムで不足するミドルステージ以降の企業への投資を行い、スタートアップの海外展開を支援。経済規模に比して小規模な**スタートアップ・エコシステムの拡大**に資することを目指す。
- 日本発スタートアップ**(日本法人／日本人が創業・出資する海外法人)の海外展開、及び**シンガポールを中心とするASEAN地域の海外スタートアップと日本企業の協業**を支援。
- 投資テーマは**産業変革**(IX: Industrial Transformation)及び**サステナビリティ**(SX: Sustainability Transformation)関連。

スタートアップ投資戦略概要



- ①産業変革(IX: Industrial Transformation)関連
- ②サステナビリティ(SX: Sustainability Transformation)関連



- ①海外で新たに事業を行う日本発スタートアップ(日本法人、または日本人が創業した海外法人)
- ②シンガポールを中心とするASEANスタートアップ(シンガポール法人またはASEAN法人)

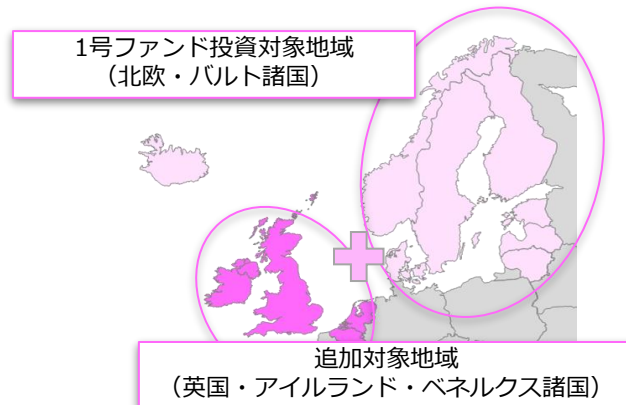


ミドル・レイターステージ(原則シリーズB以降)において、1～10億円程度のチケットサイズ(1件あたり投資額)でエクイティファイナンスによるご支援

3. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援 (2) スタートアップ・産業変革：ファンド出資

北部ヨーロッパのスタートアップに投資を行うファンドへの追加出資(2024年9月)

- 2023年にJBIC IG Partners等により、主に北部ヨーロッパ地域で**サステナビリティ×デジタル分野のスタートアップ**を投資対象とするファンド「NordicNinja Fund II SCSp」(2019年設立の1号ファンドの後続)が設立され、JBICも出資をコミット。
- 今般追加的な出資コミットにより総額69百万ユーロを出資コミット。
- 同地域のスタートアップ企業と、戦略投資家である日本企業との提携等を促進し、**日本企業のサステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)等を戦略面から支援**。



中東欧地域のスタートアップ企業に投資を行うファンドへの追加出資(2025年1月)

- 2023年にJBIC IG Partners等により、主に中東欧地域で**デジタルトランスフォーメーション分野等のスタートアップ**を投資対象とするファンド「ff Red & White」が設立され、JBICも出資をコミット。
- 今般追加的な出資コミットにより総額18百万ユーロを出資コミット。
- 同地域のスタートアップ企業と、戦略投資家である日本企業との提携等を促進し、**日本企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を戦略面から支援**。

主な投資対象地域

以下7か国を中心とした中東欧地域のスタートアップに出資



3. 我が国産業の強靱化と創造的変革の支援 (3) スタートアップ・産業変革：革新的技術・分野

味の素/医薬品関連企業買収支援 (2024年7月)

- 味の素に対し、米国法人Forge社の買収に必要な資金を、570億円を限度に融資。
- Forge社は米国で**遺伝子治療薬**のCDMO事業(製造受託とともに、製造方法の開発を受託・代行する事業)を実施。
- 味の素による**新たな治療薬**の製造方法の開発と**強固な先端医療分野の事業基盤**の構築を支援。



遺伝子治療CDMOのForge社(提供:味の素株式会社)

Terra Drone/インドネシア農業ドローン 事業買収支援(2024年6月)

- Terra Droneに対し、インドネシアでの**農園管理支援事業**の買収に必要な資金を融資。
- 同社は、ドローンを活用した測量・点検サービスの提供や、無人航空機運航管理システムの開発・提供を行うスタートアップ企業。
- ドローン位置制御技術や画像解析技術等を活用の上、適切な肥料等散布や収穫期を把握し、**最適な農園管理を可能にする事業領域**への同社の進出を支援。
- ドローンを活用した農園管理により、インドネシアの一部のパームヤシプランテーション農園において指摘される**児童労働の人権問題の解消**や、**肥料等の過剰利用削減**の効果が期待。

